マンガでわかる！

『中学道徳　とびだそう未来へ』を使うと、道徳授業が楽しくなる♪

教科書には、生徒の考えを引き出す「しかけ」が満載!!

教出中学校の先生たち

大高先生

道徳教育推進教師

西野先生

原先生

道徳授業でよいスタートを切りたい ～大高先生の場合～

大高先生、どうかされましたか？

西野先生。

実はまたこれから道徳の授業が始まるのか、と思うと憂うつで……。

誰も発言しようとしないし、シーンって感じで……。

生徒の考えを引き出すのって、難しいですよね。

はい…

生徒のほとんどは道徳の授業を**説教っぽくてめんどうくさい**、と思っているみたいで……。

まずは、そんな生徒の意識を変えられるといいですよね。

『とびだそう未来へ』には、最初の教材に入る前に「さあ、道徳を始めよう！」というページがありますよね。

授業開きではここにある**四コママンガ**を活用してみてはどうでしょう。

さあ、道徳を始めよう！

生徒たちがモヤッと感じているような日常生活でありがちな場面が描かれていて、話したくなる内容なんですよ。

四コママンガ…？

まずはこれを使って、班ごとに話し合わせてみてはどうでしょう？

なるほど！

そのとき、こちらの「話し合いのポイント」もぜひ伝えてください。

これをおさえておくことで、活発で深い話し合いができるんですよ。

そして三学年とも最初の教材はマンガや絵本を素材にしていてわかりやすいので、スムーズに話し合いに入っていけますよ。

そして授業開きの日

では、この「話し合いのポイント」を参考にして、班で話し合ってみてください。

皆さんにもこの四コママンガと似たような経験はありましたか？そのときどう感じましたか？

相手の話をさえぎらずに、まずは最後まで話を聞きましょう。

話し合いのポイント

● 考えのもち方
教材から感じたことを自分に問いかけて、言葉にしよう。

自分はどんなことを考えた？
それはなぜ？

● 友達の意見の聞き方
相手の話を最後まで聞こう。わからないことや詳しく知りたいことは質問してみよう。

なるほど！
そんな考えもあるのか。

どうしてそう思いましたか？

使ってみよう
「うんうん」「わかる。」
「そうか、○○なんだね。」
「例えばどんなことですか？」
「他にはありますか？」

それって例えばどんなこと？

――しているときとか。

わい

ふーん、そうなんだ。僕はね……

わい

友達の意見を聞いて、考えが深められたかな。それでは最初の教材を始めましょう。

教材に出てきた
それぞれの意見について
どう思うか、賛成、反対を
割合で示し、
なぜそう思ったのか、
理由を書いて
話し合ってみましょう。

割合は**心情メーター**を
使って示すと、友達にも
伝わりやすいですよ。

心情メーターと
記入欄があるから、
自分の考えが整理しやすい。
これなら言いたいことを
みんなに伝えられる！

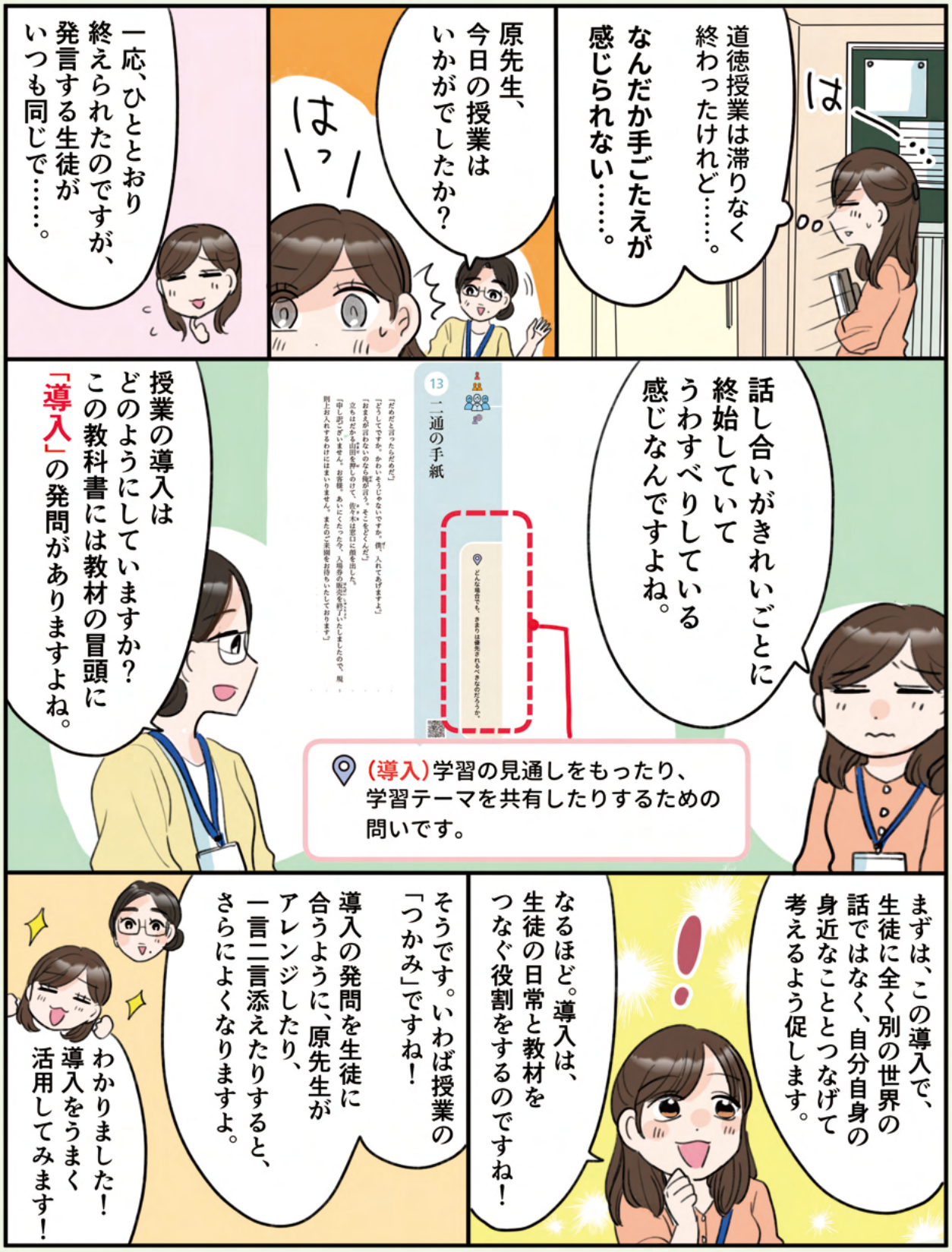
今日の道徳は
マンガで
わかりやすいから
自分の考えを
持ちやすいな。

さっきはあまり
話せなかったから
今度はきちんと
自分の意見を言おう。

うん
うん

こんな表情は、
今までの授業では
見たことがないな。
生徒が話しやすい
テーマで今日の授業は
大成功だ！

もっと深い授業がしたい　～原先生の場合～



誰にでも理解しやすく、授業がしやすい構成です。

三つの問い <ねらいとする道徳的価値について>

- ▶教材をもとに問題意識をもつ問い
- ▶自分ごととして、多面的・多角的に考える問い
- ▶自分を振り返り、生き方について考えを深める問い

生徒に寄り添い、思考を段階的に深めていきます。

なるほど。三つの問いでねらいに迫っていくわけですね。でも、どうも生徒からは型どおりな発言ばかりで……。

生徒がより自分ごととして考えられるように、例えば補助発問を間に入れてみるとか。

他に方法は？

本当にそれでよい？

ICT機器を活用して生徒のワークシートを一覧表示にして多様な意見を紹介するとか。

＊ワークシートは教師用指導書に同梱されています。

他にも生徒に気づきを促すヒントが指導書に載っているので、参考にするといいですよ。

ありがとうございます！やってみます。

次の週の授業

では、今日の道徳はここまでです。

生徒の表情が違う！いつもより深い授業ができた！

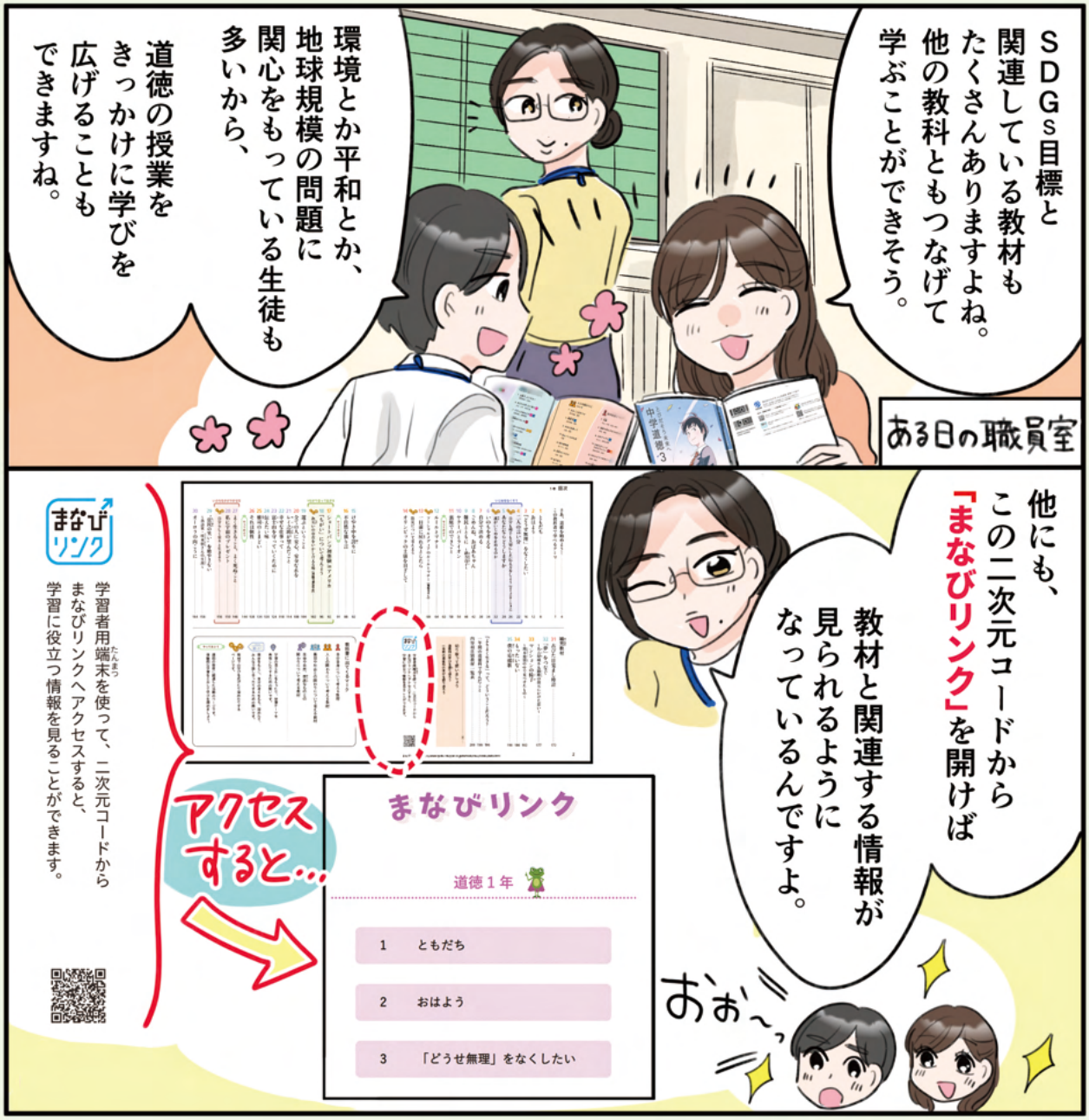
ふだん発言できないのに思わず意見を言いたくなっちゃった。共感してくれる人もいてよかったな。

ドキ ドキ

私の書いた考えを原先生が紹介してくれた！見てくれていてうれしかったな。

西野先生、導入と学びの道しるべで、授業がとても深まりました！

生徒の学びを広げるために



新しい教科書の特設サイトもぜひご覧ください。

教育出版

『とびだそう未来へ』を使うと楽しい授業ができそう！

本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則り、配付を許可されているものです。